

# 福島からの訴え

●武藤類子さん

(ハイロアクション福島原発四

〇周年実行委員会)

きょうは福島県内から、また避難先から、バスを連ねて、たくさん仲間と一緒に、やってきました。初めて集会やデモに参加する人も、たくさんいます。それでも福島原発で起きた悲しみを伝えよう、私たちこそが「原発いらない」の声をあげようと、声を掛けあい、誘いあつてやってきました。

◇ ◇

福島はとても美しいところで、東に紺碧の太平洋を望む浜通り。モモ・梨・リンゴと果物の宝庫の中通り。猪苗代湖と磐梯山の周りに黄金色の稲穂が垂れる会津平野。その向こうを、深い山々が縁取っています。山は青く、水は清らかな、私たちの故郷です。

原発事故を境に、その風景に、目には見えない放射能が降り注ぎ、私たちは被ばく者となりました。大混乱の中で、私たちは様々なことが起こりました。すばやく張り巡らされた安全キャンペーンと不安の狭間で、引き裂かれていく人と人と

のつながり。地域で、職場で、学校で、家庭の中で、どれだけの人が悩み、悲しんだことでしょうか。

毎日、毎日、否応なく迫られる決断。逃げる、逃げない。子どもにマスクをさせる、させない。洗濯物を外に干す、干さない。何かにも申す、黙る。様々な苦渋の選択がありました。

◇ ◇

そしていま、次第に鮮明になつてきたのは、事実は隠されるのだ、国は国民を守らないのだ、福島県民は核の実験材料にされるのだ、大きな犠牲の上になお原発を推進しようとする勢力があるのだ、私たちは捨てられたのだ、ということでした。

口をつく言葉は、私たちをばかにするな、私たちの命を奪うな、です。福島県民はいま、怒りと悲しみの中から、静かに立ち上がっています。子どもたちを守るようと、母父が、おじいちゃん、おばあちゃんが。自分たちの未来を奪われまいと若い世代が。土地を汚された絶望の中から、農民が。放射能による新たな差別と分断を生むまいと、障がいを持った人々が。

◇ ◇

私たちは静かに怒りを燃や

す、東北の鬼です。私たち福島県民は、故郷を離れる者も、福島に土地に留まり生きる者も、苦悩と責任と希望を分かち合

い、支え合つて生きていこうと思つていきます。私たちとつながつてください。私たちが起こしているアクションに、注目してください。政府交渉、疎開、避難、除染、原発と放射能についての学び。そしてどこにでも出かけて、福島を語ります。思い

つくり組んでいきます。私たちに助けてください。どうか福島を忘れないでください。

◇ ◇

もう一つ、お話ししたいことがあります。それは、私たち自身の生き方、暮らし方です。私たちは何気なく差し込むコンセン

トの向こう側を想像しなければなりません。差別と犠牲の上になり立っていることに、思いをはせなければなりません。原発は、その向こうにあるのです。

人類は、地球に生きる、ただ一種類の生き物にすぎません。自らの種族の未来を奪う生き物が、他にいないでしょうか。私は、この地球という美しい星と調和

エネルギーを大事に使い、工夫に満ちた、豊かで創造的な暮らしを紡いでいきたいです。どうしたら原発と対極にある新しい世界を作っていけるのか。だれにも明確な答えは分かりません。

でき得ることは、誰かが決めたことに従うのではなく、一人一人が、本心に、本気で、自分の頭で考え、確かに目を見開き、自分ができることを決断し、行動することだと思つています。

私たちは誰でも、変わる勇気を持つています。奪われてきた自信を取り戻しましょう。原発をなお進めようとする力が垂直にそびえる壁ならば、限りなく横に広がりつながら続けていくことが、私たちの力です。たつたいま、隣にいる人と、そつと手をつないでみてください。見つけ合い、お互いの辛さを聞きあいましょう。涙と怒りを許しあいましょう。

私たち一人一人の、背負つていかなければならない荷物が、途方もなく重く、道のりがどんなに過酷であっても、目をそらさずに支えあい、軽やかに、明らかに、生き延びていきましよう。

## 事務局より

▼九月一九日の明治公園には、たくさんの方々が集まっていたいただきました。本当にありがとうございました。せつかく来ていただいたのに、集会場に入れなかった方、デモ行進の出発に二時間以上待った方など、申し訳ありませんでした▼集会参加者は約六万人です。これだけ多くの人々が「原発いらない」の声を上げたことは、日本の政治家たちに大きなプレッシャーを与えたはずですが▼山本太郎さんが訴えましたが、自分の選挙区の国会議員に「あなたは原発反対？賛成？どっち」と突きつけていくことが今後は重要になると思ひます▼国会議員に対するプレッシャーの総まとめが、一〇〇〇万人署名です。日本の総人口は一億三〇〇〇万人。人口一三分の一の署名が実現すれば、国会議員は無視することはできません。皆さんのご協力をお願いします。